

こころ 提出した課題

63～68

二年四組

★：みんなで解決しよう！

63 私が進もうかよそうかと考えて、ともかくも明くる日まで待とうと決心したのは土曜の晩でした。

★「進む」とは？ ★「土曜日の晩…日曜日だとどうしていいの？

63 その晩に限って、偶然西枕に床を敷いたのも、何かの因縁かもしません。私は枕元から吹き込む寒い風でふと目を覚ましたのです。「西枕」には何か意味があるのか？

63 見ると、いつも立て切つてあるKと私の部屋との仕切りの襖が、この間の晩と同じくらい開いています。Kはなぜ襖を開けておいたのか？

63 私は暗示を受けた人のように、床の上に肘をついて起き上がりながら、きっとKの部屋をのぞきました。動き状態が瞬間的である様「きっと」の意味は？

63 そうしてK自身は向こう向きに突つ伏しているのです。「突つ伏す…急にうつぶせになる」と？

64 私はすぐ起き上がって、敷居際まで行きました。そこから彼の部屋の様子を、暗いランプの光で見回してみました。
なぜKを見ずに部屋の様子から見た？ 部屋全体を見たからKの様子も見た。

65 それが疾風のごとく私を通過したあとで、私はまたああしまったと思いました。「それ」とは？

65 もう取り返しがつかないという黒い光が、私の未来を貫いて、一瞬間に私の前に横たわる全生涯をものすごく照らしました。
★「何が取り返しがつかない？」 ★どうして取り返しがつかない？

66 私は私にとつてどんなにつらい文句がその中に書き連ねてあるだらうと予期したのです。
★「私にとって」「つらい文句」とはどういうなものか？

66 私はちょっと目を通しただけで、まず助かつたと思いました。（もとより世間体の上だけです）。私はちよつと目を通しただけで、まず助かつたと思いました。世間体がこの場合、私にとつては非常な重大事件に見えただけです。

★「世間体の上だけで助かつた」とは？ ★私の言う「世間体」とは何か？

67 自分は薄志弱行でとうてい行く先の望みがないから、自殺するというだけなのです。
★「薄志弱行」とはどんな志が薄くてどんな行動が出来ない？ ★「行く先の望み」とは何？

67 必要なことはみんな一口ずつ書いてある中にお嬢さんの名前だけはどこにも見えません。私はしまいで読んで、すぐKがわざと回避したのだといふことに気がつきました。
★なぜお嬢さんの名前だけ無かつたのか？ ★なぜわざと回避したのか？

67 最後に墨の余りで書き添えたらしく見える、もっと早く死ぬべきだになぜ今まで生きていたのだろうという意味の文句でした。
★「書き添え」とはどういうときに書く？Kの本音？Kの嫌がらせ？
★「もっと早く」とはいつより早く？

68 私はわざとそれをみんなの目につくように、元のとおり机の上に置きました。
★どうして皿につくように置いたのか？

68 そうして振り返つて、襖にほとばしっている血潮を初めて見たのです。
Kは先生の部屋の方を見ながら死んだってことですか？

69 朝になつて奥さんにKの自殺を告げた
何ですぐに知らせなかつたのか？